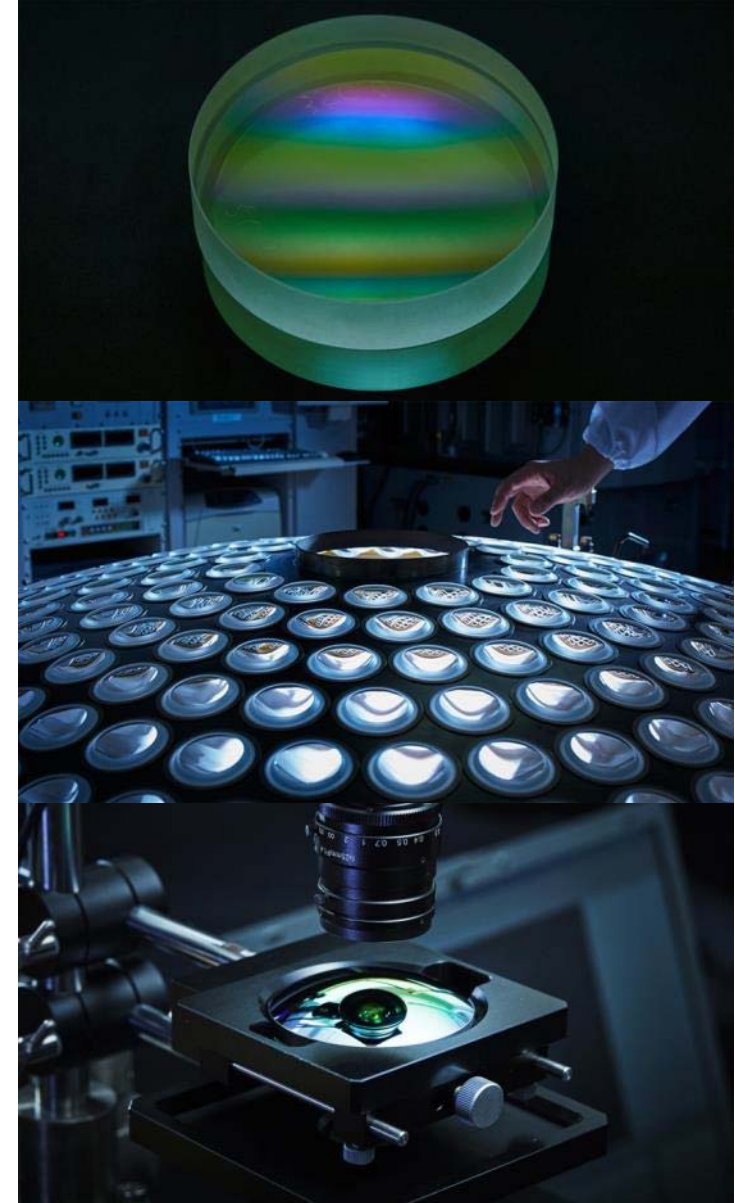


2020年12月期 第2四半期決算説明会

2020年8月4日（火）
株式会社タムロン
（証券コード：7740）



目次

I. 2020年概況

1. 2020年上期総括
2. 新型コロナウイルスによる影響
3. 2020年通期見通し

II. 上期実績

1. 2020年上期連結業績
2. 営業利益変動要因
3. 2020年上期セグメント別業績
 - ①写真関連事業
 - ②レンズ関連事業
 - ③特機関連事業

III. 通期計画

1. 2020年通期連結業績
2. 2020年通期セグメント別業績
 - ①写真関連事業
 - ②レンズ関連事業
 - ③特機関連事業
3. ESGの取り組み 環境ビジョン2050

IV. 参考情報

1. 財政状況
2. 設備投資、減価償却費、研究開発費
3. キャッシュ・フロー
4. 配当金、主要経営指標
5. 為替影響

TAMRON

I . 2020年概況

TAMRON

I - 1 . 2020年 上期総括

【 経 営 環 境 】

➤ 市場環境 : **デジタルカメラ市場は、従来から続く需要減少傾向に加えて、1Q後半からの新型コロナウイルス感染症の影響により、前期比で約半減**

- ・レンズ交換式カメラ ⇒ 数量49%減、金額46%減
- ・交換レンズ ⇒ 数量47%減、金額45%減
- ・レンズ一体型カメラ ⇒ 数量56%減、金額49%減

➤ 為替動向 : **売上高・利益にマイナス影響** (ドルは1.8円の円高、ユーロは5.0円の円高)

【 当 社 業 績 】

➤ 前期比 : **28%減収、63%営業減益**

※コロナによる需要減

・ BtoC : 外出禁止や収入減による購買意欲の減退

⇒ イベント中止等もあり主力事業の

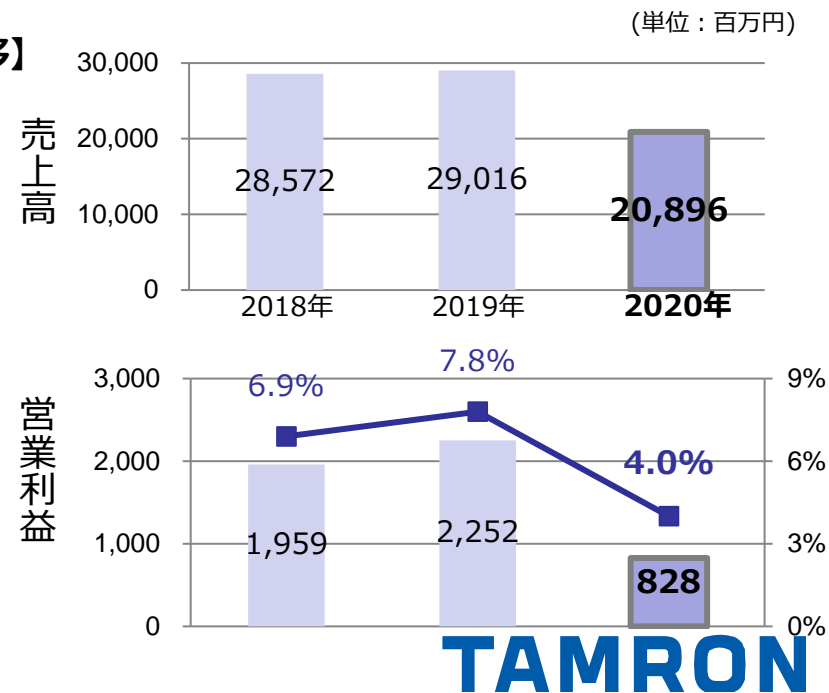
デジカメ関連は大きな減収

・ BtoB : 企業活動停滞での開発等の後ろ倒し

⇒全セグメントで減収

特機関連事業は減収ながらも**増益**

【上期業績推移】



I - 2. 新型コロナウイルスによる影響

【上期業績への影響】

売上高への影響 **約△80億円**

営業利益への影響 **約△10億円**（利益影響大も最小化）

【当社グループへの影響】

生産拠点	日本	・ 需要減少から5月1日から6月30日まで一部休業。 （その後、9月30日まで休業期間を延長）。
	中国	・ 春節から春節明け後の2月9日まで稼働停止。 2月下旬には通常操業時と同等の稼働。
	ベトナム	・ 社員の安全に最大限に配慮しながら、通常操業時とほぼ同等の稼働を維持。
販売拠点	海外販社 国内	・ テレワーク等を活用するも、企業及び小売店の閉鎖や休業、移動の制限に伴い、営業活動が停滞。

TAMRON

I - 3 . 2020年 通期見通し

【下期経営環境】

- 市場環境 : 上期からは回復するが、引き続きデジタルカメラ市場の減少継続
※ミラーレスシフトは継続（上期ミラーレス比率：台数44% → **50%**、金額59% → **63%**）
監視カメラや車載カメラ等の市場は成長基調へ

【当社業績】

➤ 下期も減収減益を見込む

- ・新型コロナウイルスの影響は小さくなるが、本格回復は見込めず下期も減収・減益見込む
⇒**通期で21%減収**の売上高**500億円**、**60%減益**の営業利益**28億円**へ

➤ 特機関連事業は増収を見込む

- ・下期は監視/FAでの20%増収により特機関連事業全体では2ケタ増収へ
⇒**通期でも増収**を見込む

➤ 経済・市場の本格回復には時間を要す前提にて**中長期の戦略の見直し・強化に着手**

TAMRON

Ⅱ. 上期実績

TAMRON

Ⅱ-1. 2020年上期 連結業績

(単位：百万円)

	2019年 上期実績	2020年 上期実績	増 減 (対前年)	
			額	率
売上高	29,016	20,896	△8,120	72.0%
粗利益	10,421	7,972	△2,448	76.5%
粗利益率	35.9%	38.2%	+2.3%	-
営業利益	2,252	828	△1,423	36.8%
営業利益率	7.8%	4.0%	△3.8%	-
経常利益	2,549	1,164	△1,385	45.7%
経常利益率	8.8%	5.6%	△3.2%	-
四半期純利益	1,931	843	△1,087	43.7%
純利益率	6.7%	4.0%	△2.7%	-
ドル	110.07	108.24	△1.83	-
ユーロ	124.35	119.36	△4.99	-

➤ デジカメ関連△73億円
➤ 為替影響△4億円

➤ 粗利益率+2.3 p t 改善
➤ 販管費△13%削減

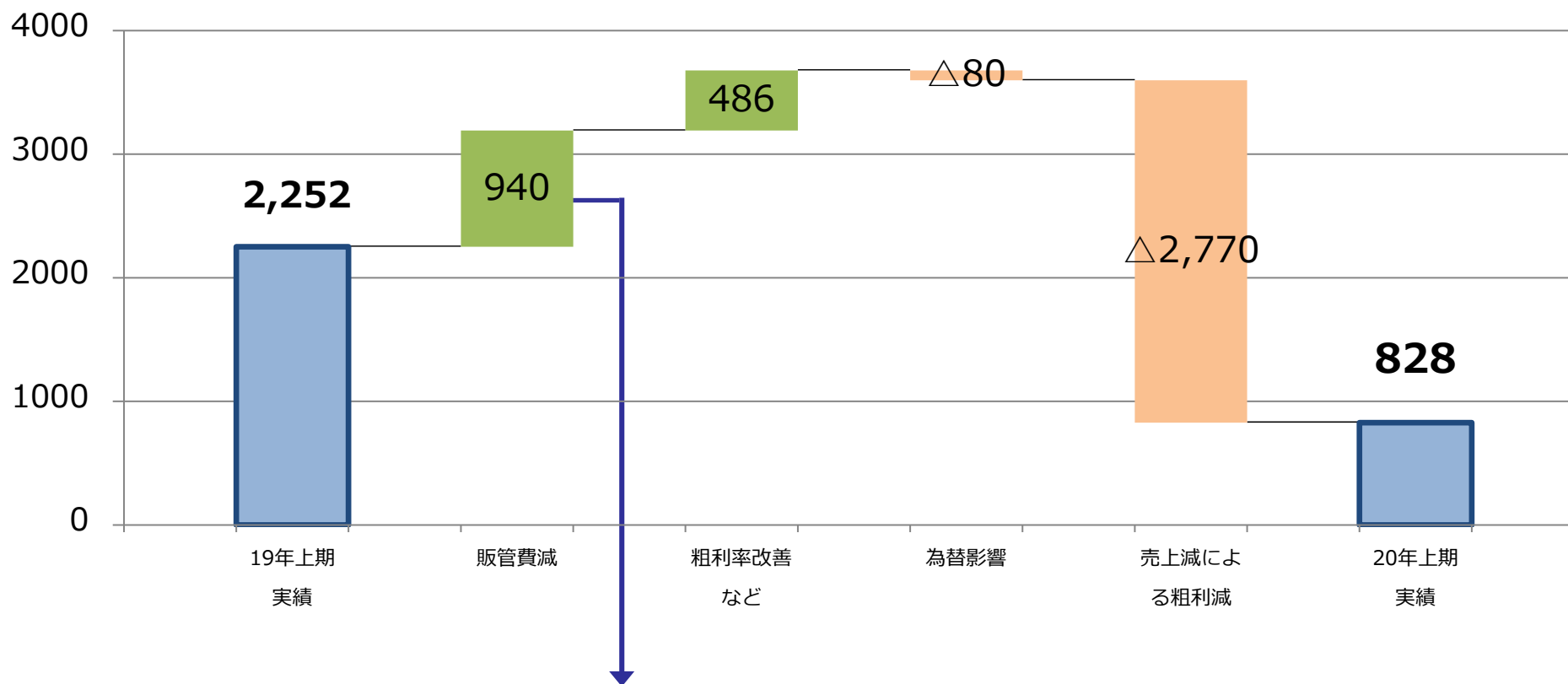
⇒急激な経営環境悪化も、
1Q、2Q共に営業黒字確保。

※特に2Qはコロナ影響甚大
(△38%減収)も、
1Q並みの利益を確保。

TAMRON

Ⅱ-2. 営業利益変動要因

(単位：百万円)



のれん償却費	+2.2億円
上記特殊要因除く実質経費減	(△14%) △11.6億円
・ 広告宣伝・販促費	(△38%) △2.2億円
・ 旅費交通費	(△62%) △1.2億円

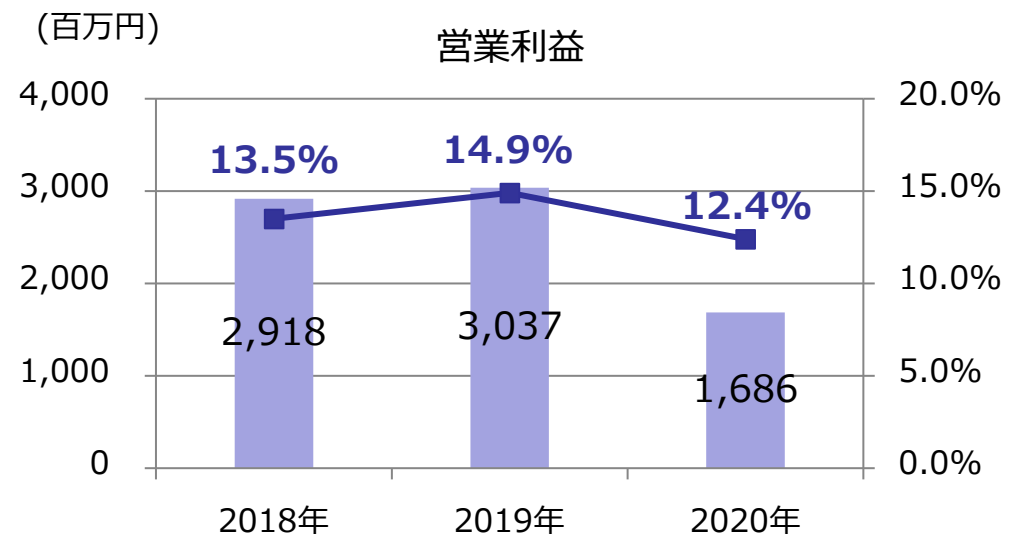
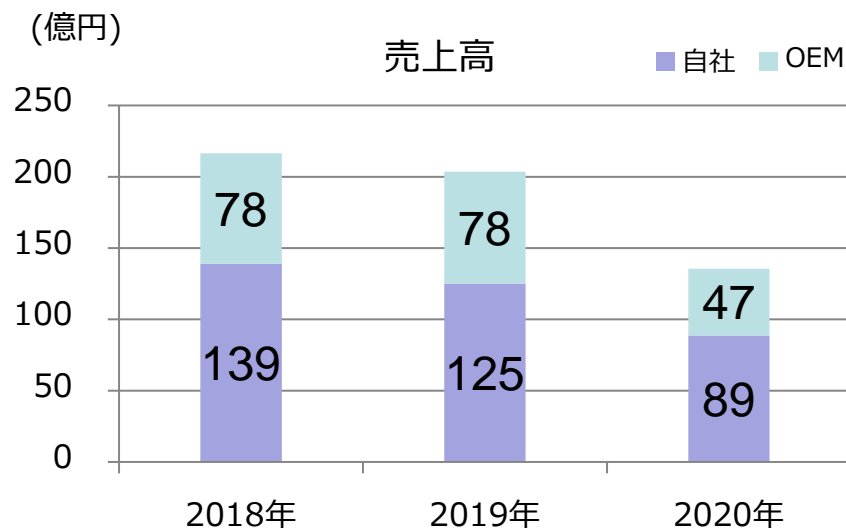
TAMRON

Ⅱ-3. 2020年上期 セグメント別業績 ①写真関連

(単位：百万円)

	2019年 上期実績	2020年 上期実績	増減 (対前年)		うち 為替影響 額
			額	率	
売上高	20,353	13,549	△6,804	66.6%	△2.9億円
営業利益	3,037	1,686	△1,351	55.5%	△1.1億円
営業利益率	14.9%	12.4%	△2.5%	—	—

➤ 自社ブランドは新製品投入により市場の減少幅を上回ったが、自社ブランド、OEM共に**市場半減の影響が大きく減収**。



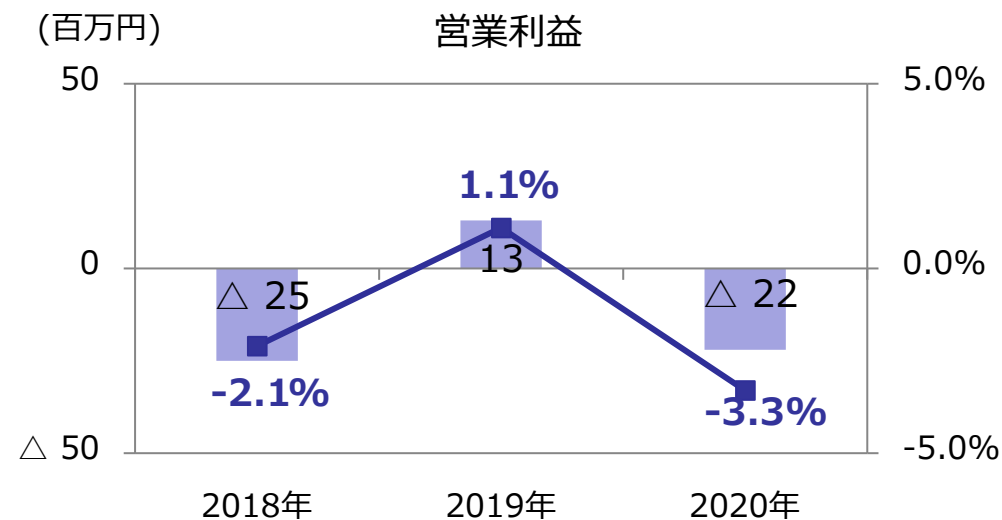
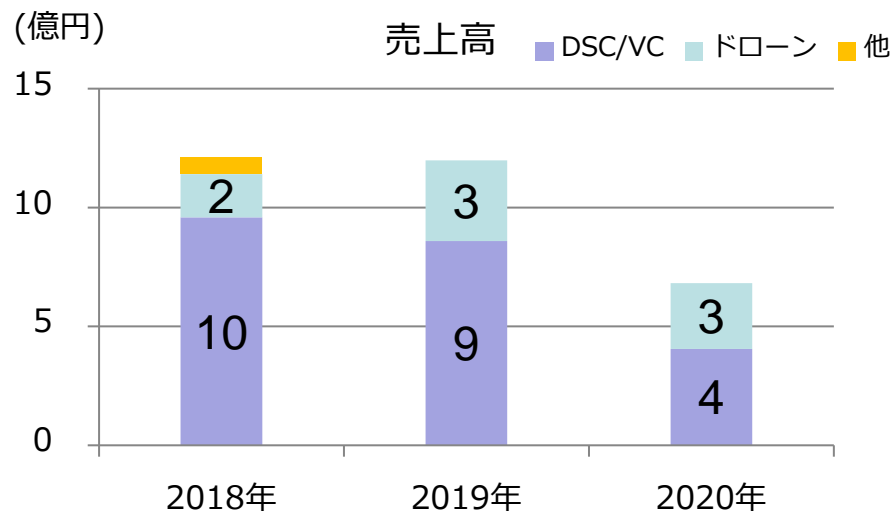
TAMRON

Ⅱ-3. 2020年上期 セグメント別業績 ②レンズ関連

(単位：百万円)

	2019年 上期実績	2020年 上期実績	増 減 (対前年)		うち 為替影響 額
			額	率	
売上高	1,199	681	△517	56.8%	△0.1億円
営業利益	13	△22	△35	-	±0.0億円
営業利益率	1.1%	△3.3%	△4.4%	-	-

- DSC/VCは市場の大幅減少の影響を受け、**前年比半減の大幅減収**。
- 営業黒字から**営業赤字へ転落**。



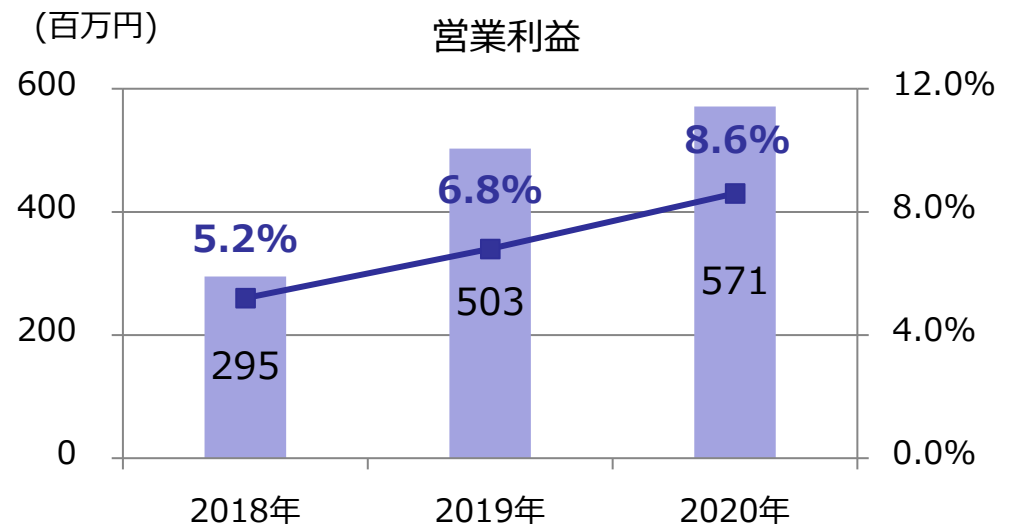
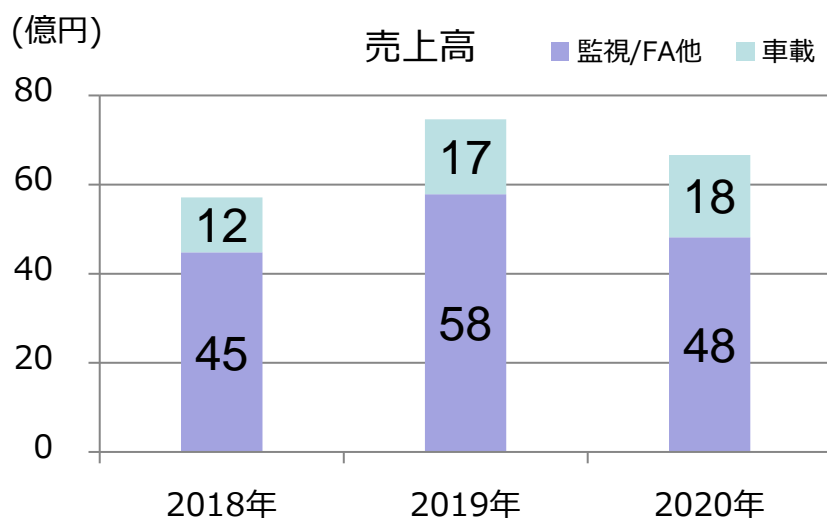
TAMRON

Ⅱ-3. 2020年上期 セグメント別業績 ③特機関連

(単位：百万円)

	2019年 上期実績	2020年 上期実績	増減 (対前年)		うち 為替影響 額
			額	率	
売上高	7,463	6,665	△798	89.3%	△1.0億円
営業利益	503	571	67	113.3%	0.3億円
営業利益率	6.8%	8.6%	+1.8%	-	-

- 販管費抑制、原価低減、センシング向けの車載用レンズの販売増により、**13%の増益**。
- 車載は増収確保も、監視/FA他が新型コロナウイルスの影響に伴う開発停滞等の影響により**約10億円の減収**。



TAMRON

Ⅲ. 通期計画

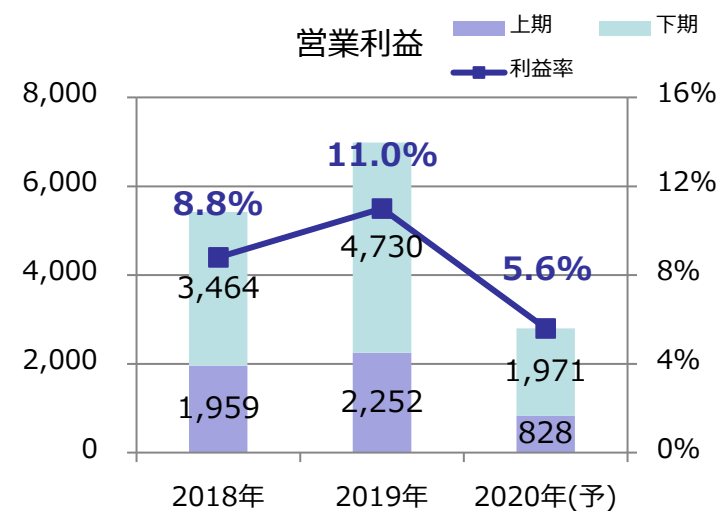
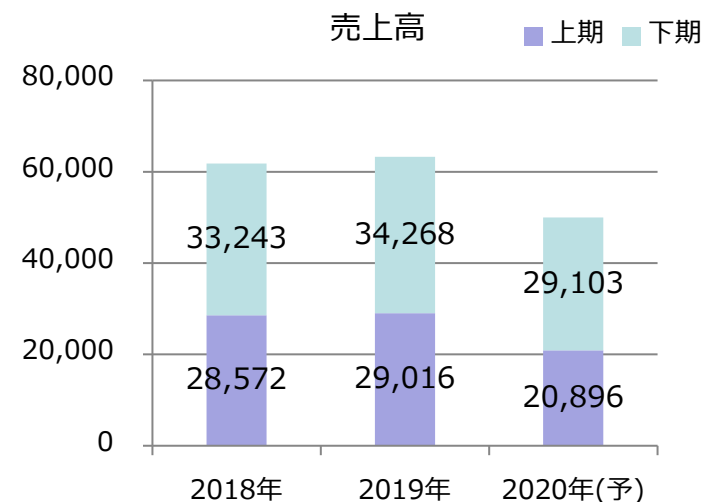
TAMRON

Ⅲ-1. 2020年通期 連結業績

(単位：百万円)

	2019年 通期実績	2020年 通期計画	増減 (対前年)	
			額	率
売上高	63,285	50,000	△13,285	79.0%
営業利益	6,982	2,800	△4,182	40.1%
営業利益率	11.0%	5.6%	△5.4%	—
経常利益	7,403	3,100	△4,303	41.9%
経常利益率	11.7%	6.2%	△5.5%	—
当期純利益	5,330	2,220	△3,110	41.6%
純利益率	8.4%	4.4%	△4.0%	—
ドル	109.04	107.60	△1.44	—
ユーロ	122.06	119.70	△2.36	—

➤ 下期前提レート： ドル = 107円
ユーロ = 120円



TAMRON

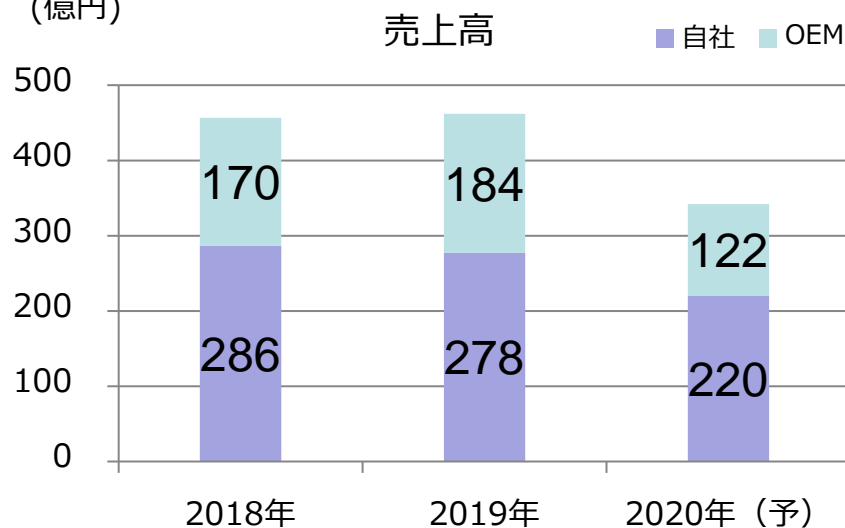
Ⅲ-2. 2020年通期 セグメント別業績 ①写真関連

(単位：百万円)

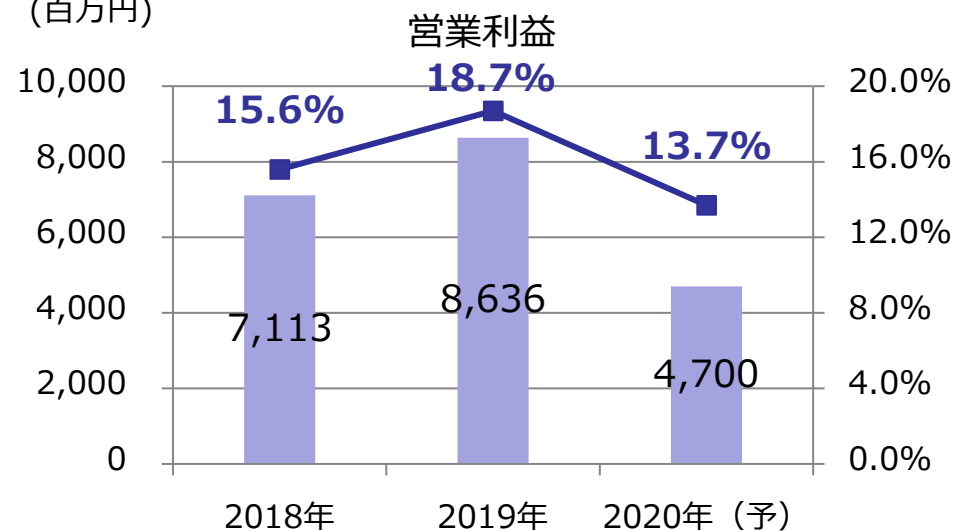
	2019年 通期実績	2020年 通期計画	増減 (対前年)	
			額	率
売上高	46,175	34,200	△11,975	74.1%
営業利益	8,635	4,700	△3,935	54.4%
営業利益率	18.7%	13.7%	△5.0%	-

➤ 市場縮小による減収となり、大幅減収影響で減益ともなるが、営業利益の落ち込みを極力抑制。

(億円)



(百万円)



TAMRON

自社ブランド新製品投入予定

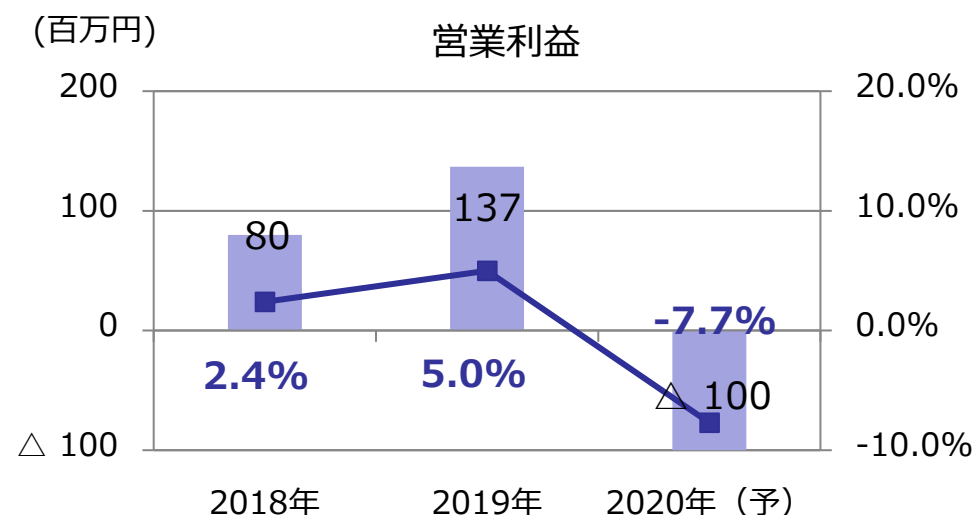
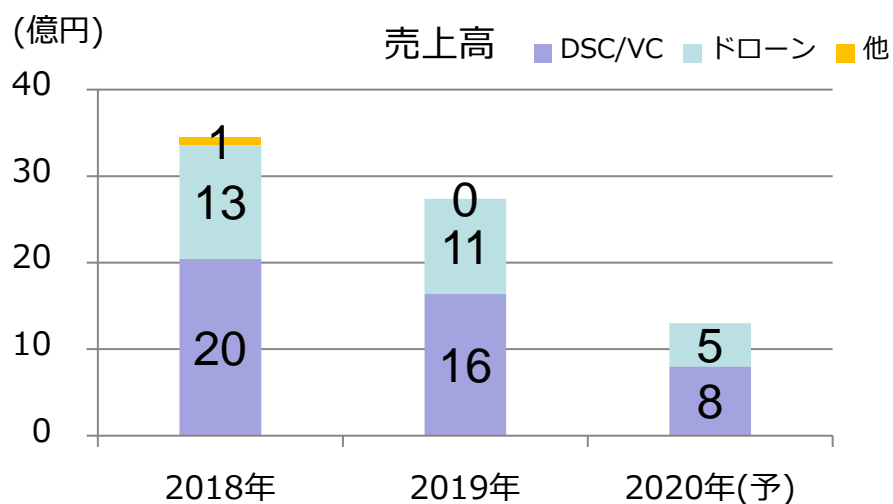
区分		2018年投入	2019年投入	2020年投入
ミラーレス	単焦点		12月発売  24mm F/2.8 OSD M1:2 (F051) 12月発売  35mm F/2.8 OSD M1:2 (F053)	1月発売  20mm F/2.8 OSD M1:2 (F050)
	広角ズーム		7月発売  17-28mm F/2.8 RXD (A046)	2020年は年間4機種 の発売を予定。
	標準ズーム	5月発売  28-75mm F/2.8 RXD (A036)		
	望遠ズーム			5月発売  70-180mm F/2.8 VXD (A056) 開発発表  70-300mm F/4.5-6.3 RXD (A047)
	高倍率ズーム			6月発売  28-200mm F/2.8-5.6 RXD (A071)
一眼レフ	4月発売  70-210mm F/4 VC USD (A034) 9月発売  17-35mm F/2.8-4 OSD (A037) 9月発売  SP 15-30mm F/2.8 VC USD G2 (A041)	5月発売  35-150mm F/2.8-4 VC OSD (A043) 6月発売  SP 35mm F/1.4 USD (F045)		

Ⅲ-2. 2020年通期 セグメント別業績 ②レンズ関連

(単位：百万円)

	2019年 通期実績	2020年 修正計画	増減 (対前年)	
			額	率
売上高	2,739	1,300	△1,439	47.5%
営業利益	137	△100	△237	—
営業利益率	5.0%	△7.7%	△12.7%	—

➤ DSC/VC、ドローン用共に前期比約半減の減収見込み。営業赤字へ転落。



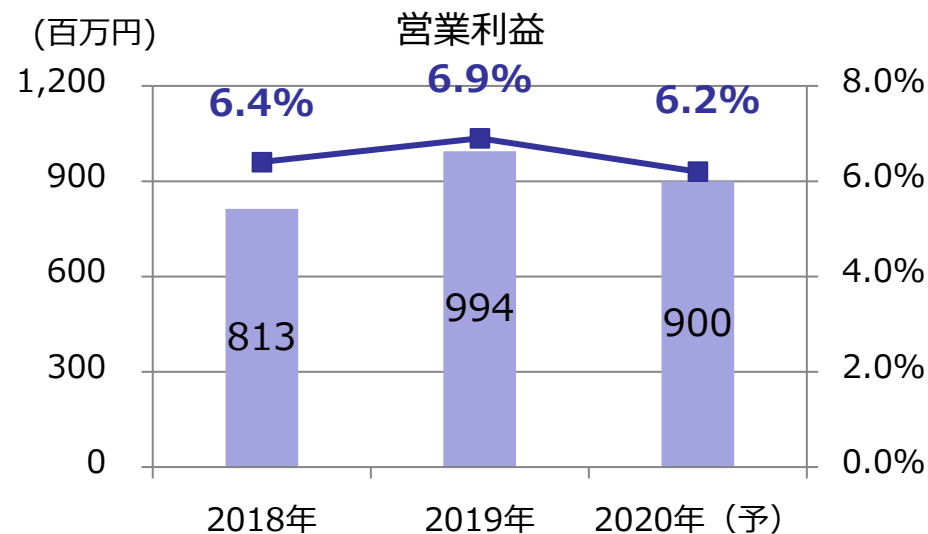
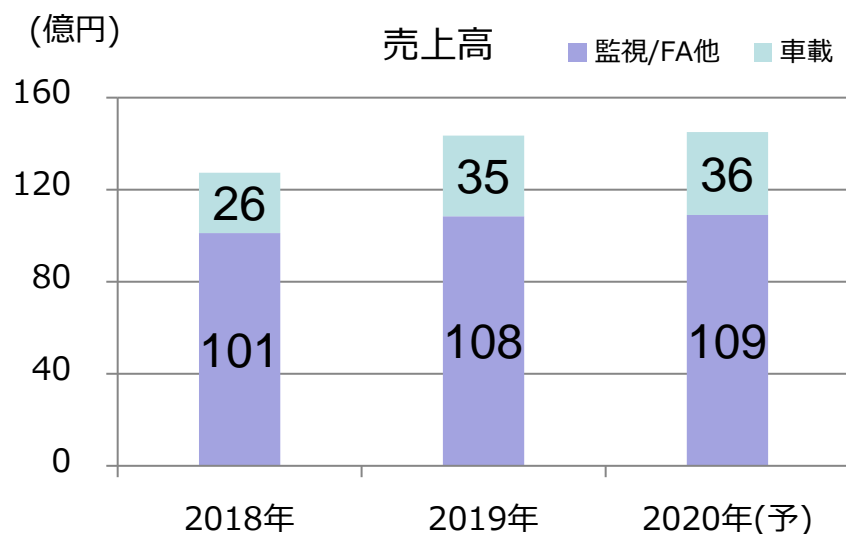
TAMRON

Ⅲ-2. 2020年通期 セグメント別業績 ③特機関連

(単位：百万円)

	2019年 通期実績	2020年 修正計画	増減 (対前年)	
			額	率
売上高	14,371	14,500	+129	100.9%
営業利益	994	900	△94	90.5%
営業利益率	6.9%	6.2%	△0.7%	-

➤ 監視/FA他、車載用レンズ共に**増収**を目指す。価格競争、先行開発・投資等により**減益**。

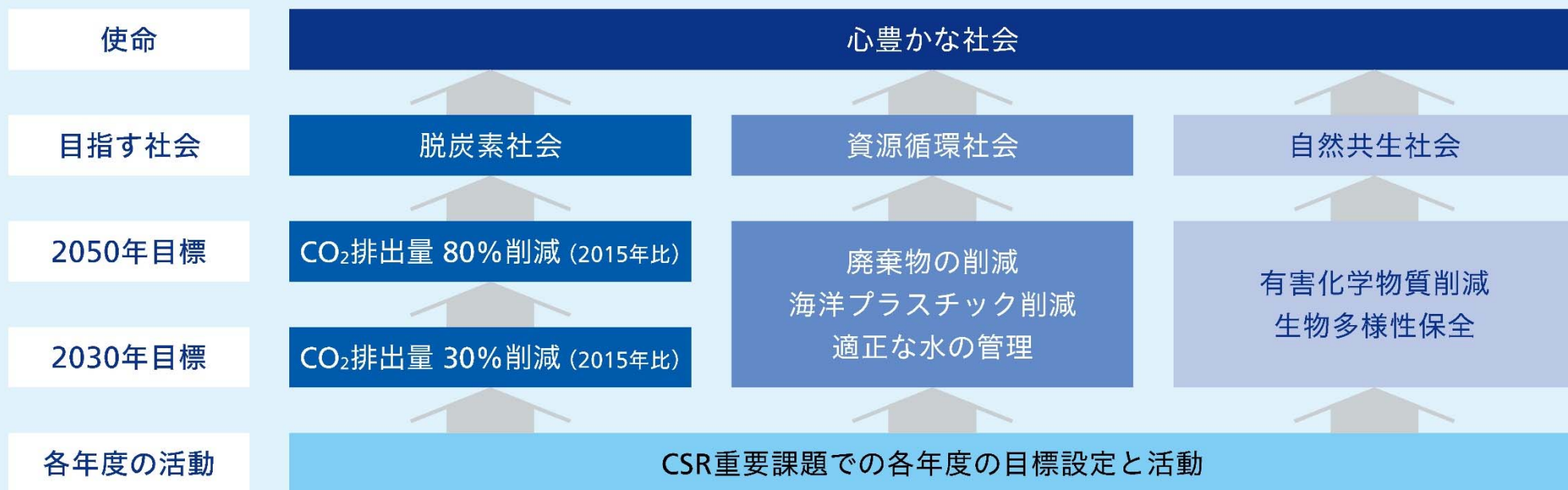


TAMRON

Ⅲ-3. ESGの取り組み 環境ビジョン2050

環境ビジョン2050

地球環境問題を人類共通の課題として認識し、環境負荷の低減、環境の保全に努め、
環境と調和した持続可能な社会づくりに貢献します。

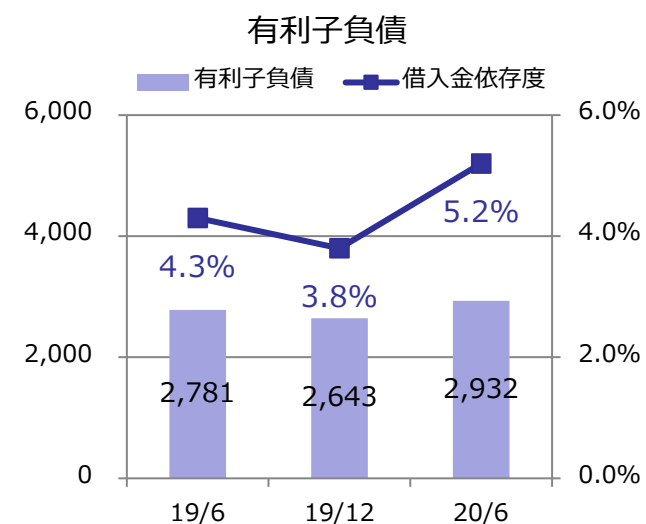
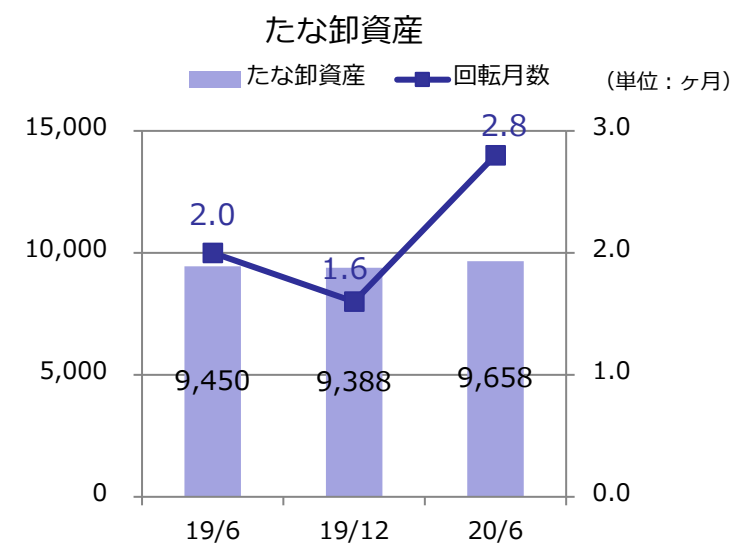


IV. 参考情報

TAMRON

IV-1. 財政状況

(単位：百万円)	2019年 12月末	2020年 6月末	増減 (対前期末)
現金・預金	28,384	19,476	△8,907
受取手形・売掛金	12,907	8,665	△4,241
たな卸資産	9,388	9,658	+269
その他流動資産	982	938	△44
固定資産	17,634	17,351	△282
資産合計	69,297	56,090	△13,206
流動負債	12,299	8,774	△3,525
固定負債	2,458	2,624	166
純資産	54,539	44,691	△9,847
負債純資産合計	69,297	56,090	△13,206
自己資本比率	78.7%	79.7%	1.0%

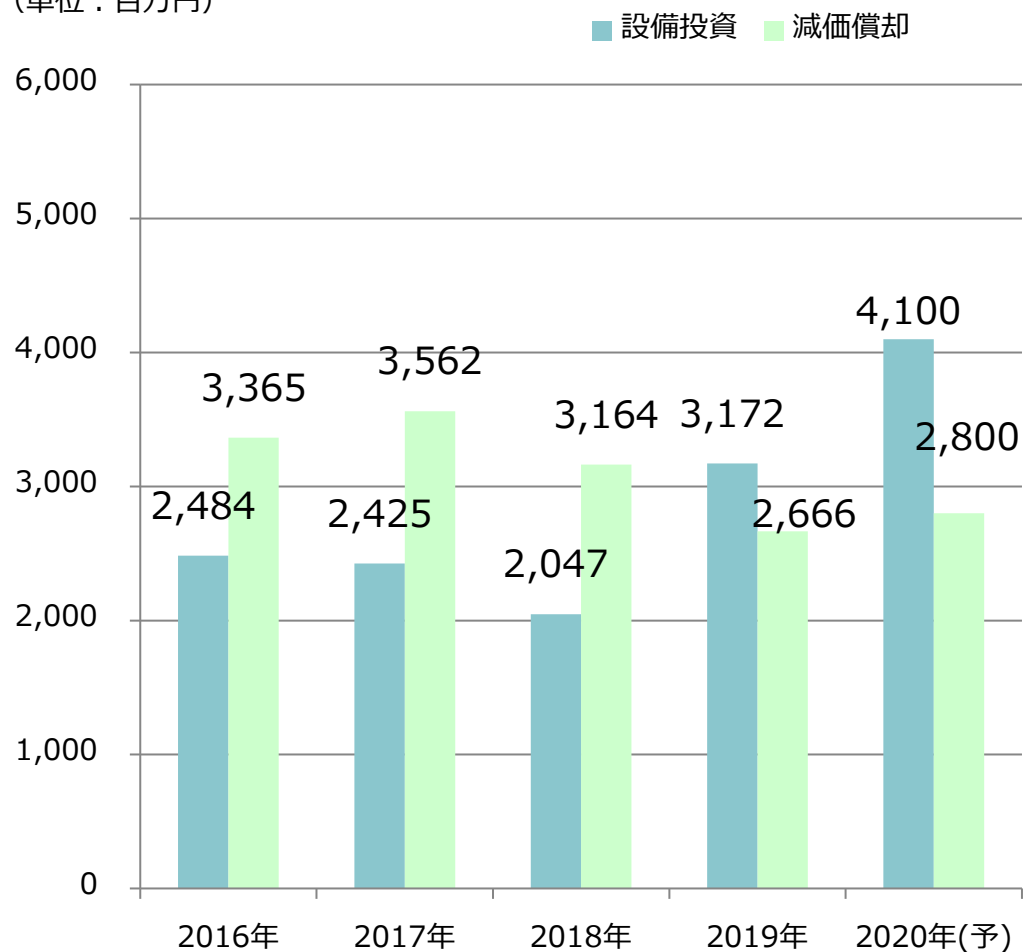


TAMRON

IV-2. 設備投資額、減価償却費、研究開発費

設備投資額・減価償却費

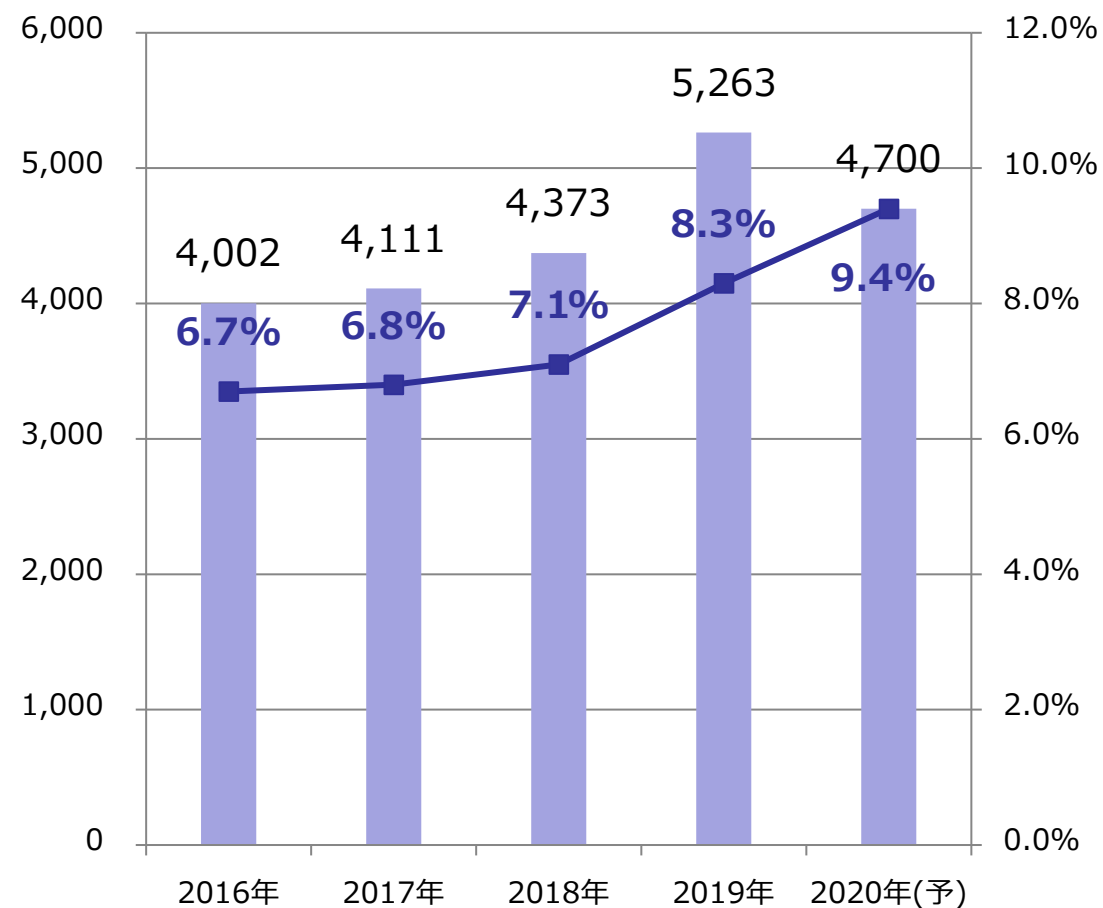
(単位：百万円)



研究開発費

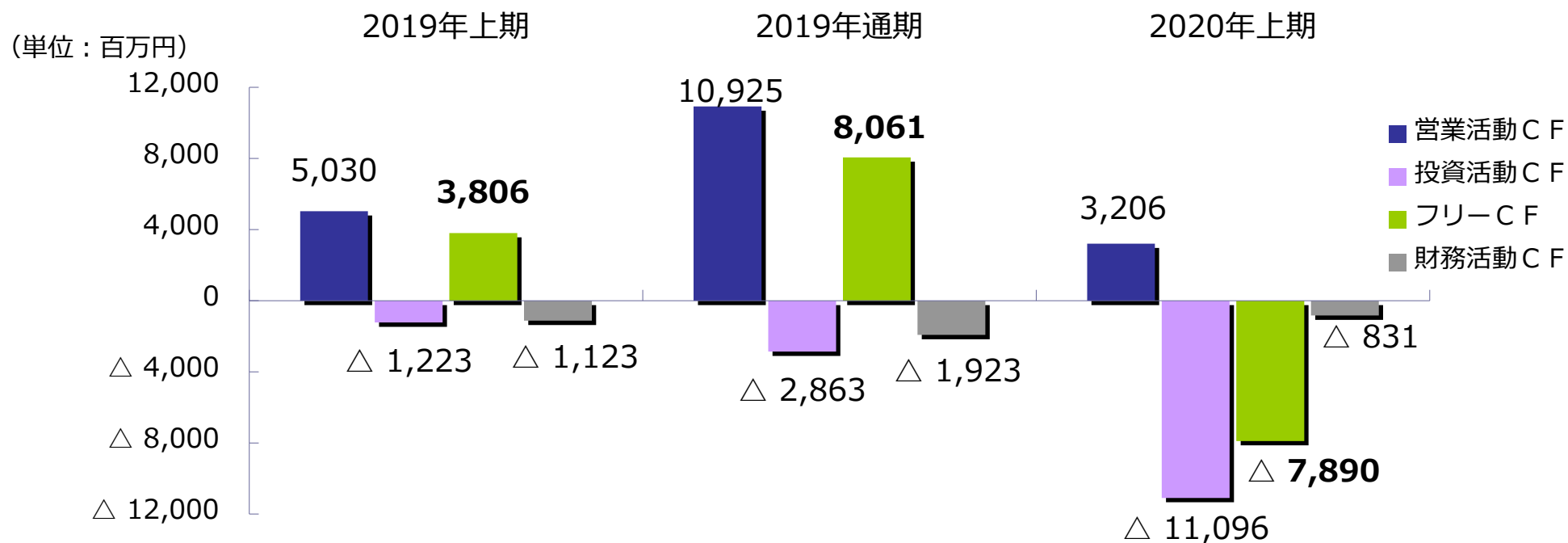
(単位：百万円)

売上高
研究開発費比率



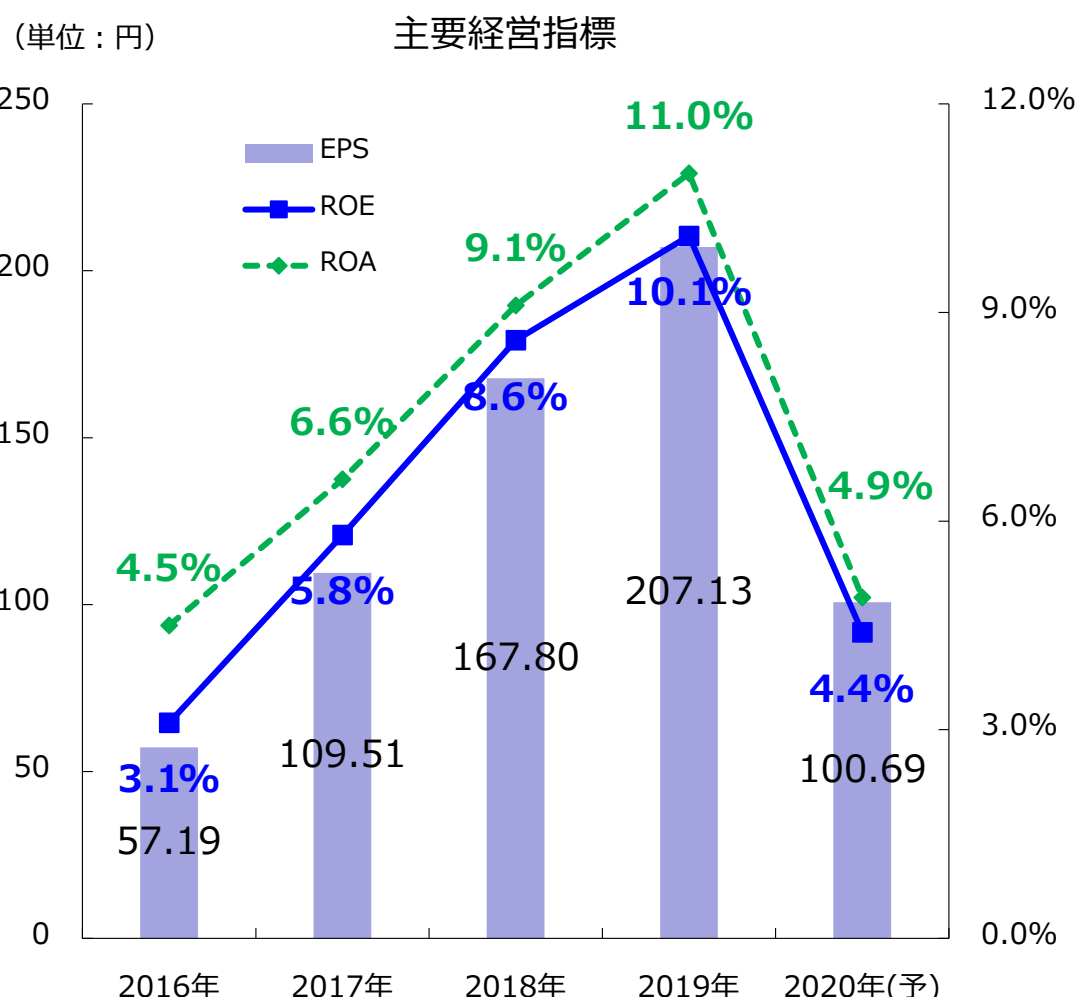
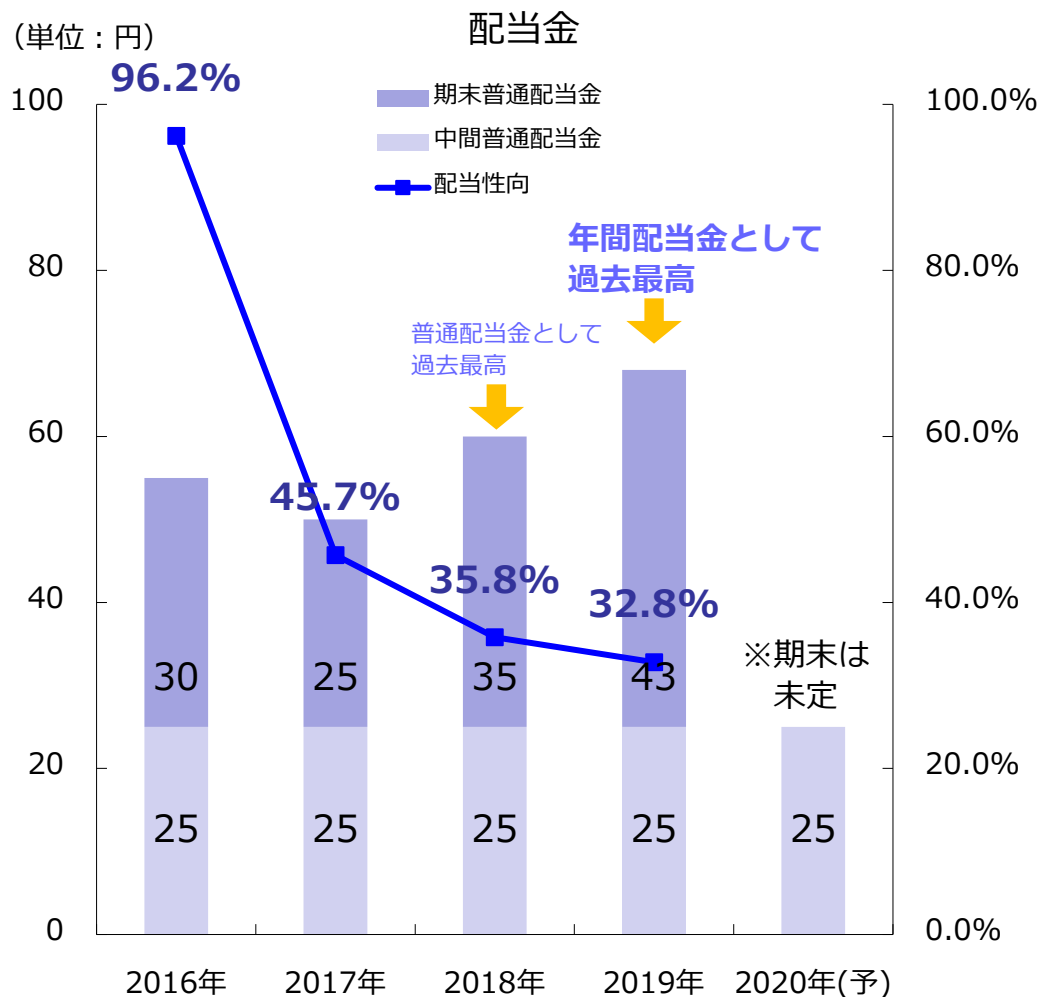
TAMRON

IV-3. キャッシュ・フロー



	2019年上期	2019年通期	2020年上期
営業活動CF	5,030	10,925	3,206
投資活動CF	△1,223	△2,863	△11,096
フリーCF	3,806	8,061	△7,890
財務活動CF	△1,123	△1,923	△831
現金及び現金同等物の期末残高	24,905	28,384	19,476

IV-4. 配当金、主要経営指標



ROE = 当期純利益/純資産 (分母は期中平均)
 ROA = 経常利益/資産合計 (分母は期中平均)

2020年3月：自己株式取得を実施 (89億円)

配当政策

- ・ 配当性向目標(連結ベース)： **35%**程度
- ・ 安定配当



IV-5. 為替影響

①2020年上期 為替影響額

	為替レート		影響額	
	2019年上期実績	2020年上期実績	売上高	営業利益
米ドル	110円07銭	108円24銭	△1.6億円	±0.0億円
ユーロ	124円35銭	119円36銭	△1.3億円	△1.0億円
他通貨	-	-	△1.1億円	0.2億円
合計	-	-	△4.0億円	△0.8億円

(前期実績に対する影響額)

②2020年下期 為替感応度

	為替レート	1円の変動 (円高)による影響額	
	2020年下期前提	売上高	営業利益
米ドル	107円00銭	△1.2億円	±0.0億円
ユーロ	120円00銭	△0.4億円	△0.3億円

TAMRON

将来の事象に係る記述に関する注意

1. 本資料は、2020年12月期第2四半期の業績及び今後の経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の購入や売却を勧誘するものではありません。
2. 本プレゼンテーション資料及び当社代表者が口頭にて提供する情報は、現時点で入手可能な情報をもとに当社が合理的であると判断した一定の前提に基づいております。
3. 実際の業績は記載の見通しとは異なる可能性があり得ますことをご承知おき下さい。
4. 本資料利用の結果生じた、いかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。